

キャタピラー

適用範囲		モデル名	305CCR	303.5DCR	304CCR	305DCR	305.5DCR	
		適用号機	GYZ00001~	SEG00001~	STB00001~	WCJ00001~	YHS00001~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
デ イ ゼ ル エ ン ジ ン	エンジン本体	エンジン回転速度	rpm	2550±50	2450±50	2570±50	2570±50	2570±50
		ハイアイドルリング	rpm	1150±50	1180±50	1140±110	1140±110	1140±110
		ローアイドルリング	rpm	—	—	—	—	—
		(冷却水温)	(°C)	55±5	55±5	55±5	55±5	55±5
	(作動油温)	(°C)	—	—	—	—	—	
	弁すき間	mm	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	
	吸気弁 スキ間	mm	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	
	排気弁 スキ間	mm	—	—	—	—	—	
	[測定条件]	(冷態時)	—	—	—	—	—	
	圧縮圧力	kgf/cm ²	30	23~31	30	26~30	26~30	
	気筒間圧縮圧力差	MPa	2.9	2.3~3.0	2.9	2.5~2.9	2.5~2.9	
	(冷却水温)	MPa	—	—	—	—	—	
	(回転速度)	(°C)	40	40	20~30	20~30	20~30	
	(rpm)	(rpm)	150~200	150~200	150~200	150~200	150~200	
燃 料 装 置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	kgf/cm ²	14	137	120 ⁺¹⁰ ₋₀	120 ⁺¹⁰ ₋₀	140~150	
		MPa	1.3	13.5	11.77 ^{+0.98} ₋₀	11.77 ^{+0.98} ₋₀	13.7~14.7	
冷 却 装 置	ファン駆動ベルトの張り 測定位置・条件 (kgとNの両方で 表記)	mm	10~12	8~11	8~11	8~11	8~11	
		kg N	オルタネータ プリー間 押し付け力 10kgf 100N	オルタネータ プリー間 押し付け力 10kgf 100N	オルタネータ プリー間 押し付け力 10kgf 100N	オルタネータ プリー間 押し付け力 10kgf 100N	オルタネータ プリー間 押し付け力 10kgf 100N	
走 行 性 能	最高速度	秒	14.0	17.4±1.3	15.8±1.0	15.8±1.0	16.6±1.0	
		測定方法・条件	エンジンハイ アイドル トラック 3回空転	エンジンハイ アイドル 20m 走行 (高速)	エンジンハイ アイドル 20m 走行 (高速)	エンジンハイ アイドル 20m 走行 (高速)	エンジンハイ アイドル 20m 走行 (高速)	
走 行 装 置	ゴム ベ ル ト	張り(たわみ量) 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm	10~15 クローラ継目の 〇〇マークがフ レーム下部中央 位置 (図 No. 5)	10~15 クローラ継目の Ωマークがフ レーム下部中央 位置 (図 No. 5)	10~15 クローラ継目の Ωマークがフ レーム下部中央 位置 (図 No. 5)	10~15 クローラ継目の Ωマークがフ レーム下部中央 位置 (図 No. 5)	10~15 クローラ継目の Ωマークがフ レーム下部中央 位置 (図 No. 5)
			mm	25~35 フレーム下部 (図 No. 5)	25~35 フレーム下部 (図 No. 5)	25~35 フレーム下部 (図 No. 5)	25~35 フレーム下部 (図 No. 5)	25~35 フレーム下部 (図 No. 5)
	鉄 シ ネ ー	リンクピッチの伸び 測定方法・条件	mm	135 1リンク分	101.5 1リンク分	—	—	—
			Kgf・m	16.5±1.5	—	16.3±1.5	16.3±1.5	16.3±1.5
	覆板取付けベルト 締付けトルク	N・m	162±15	—	160±15	160±15	160±15	

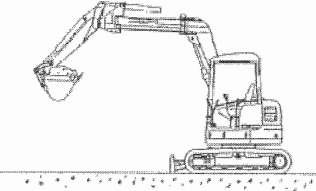
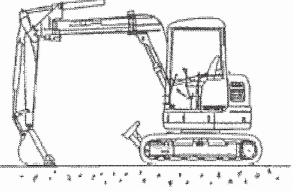
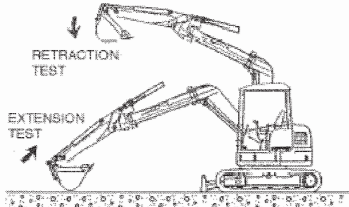
303.5ECR	303.5ECR	304ECR	304ECR	305ECR	305ECR	305.5ECR	305.5ECR
SFH00001~	RSE00001~	SSC00001~	TSR00001~	WDL00001~	XSC00001~	YGB00001~	FSC00001~
検査基準値							
2540~2640 1090~1190	2540~2640 1090~1190	2360~2460 1010~1110	2360~2460 1010~1110	2360~2460 970~1120	2360~2460 970~1120	2540~2640 950~1100	2540~2640 950~1100
50~60	50~60	50~60	50~60	50~60	50~60	50~60	50~60
0.18~0.22 0.18~0.22 (冷態時)	0.18~0.22 0.18~0.22 (冷態時)	0.18~0.22 0.18~0.22 (冷態時)	0.18~0.22 0.18~0.22 (冷態時)	0.18~0.22 0.18~0.22 (冷態時)	0.18~0.22 0.18~0.22 (冷態時)	0.18~0.22 0.18~0.22 (冷態時)	0.18~0.22 0.18~0.22 (冷態時)
2.35	2.35	2.35	2.35	2.35	2.35	2.35	2.35
スカータモータ	スカータモータ	スカータモータ	スカータモータ	スカータモータ	スカータモータ	スカータモータ	スカータモータ
2段式 18.6 22.6	2段式 18.6 22.6	2段式 18.6 22.6	2段式 18.6 22.6	2段式 18.6 22.6	2段式 18.6 22.6	2段式 18.6 22.6	2段式 18.6 22.6
7~9 オルタネータ プリー間 押し付け力 98N	7~9 オルタネータ プリー間 押し付け力 98N	7~9 オルタネータ プリー間 押し付け力 98N	7~9 オルタネータ プリー間 押し付け力 98N	7~9 オルタネータ プリー間 押し付け力 98N	7~9 オルタネータ プリー間 押し付け力 98N	7~9 オルタネータ プリー間 押し付け力 98N	7~9 オルタネータ プリー間 押し付け力 98N
15.9~17.9 エンジンハイ アイドル 20m 走行 (高速)	15.9~17.9 エンジンハイ アイドル 20m 走行 (高速)	15.9~17.9 エンジンハイ アイドル 20m 走行 (高速)	15.9~17.9 エンジンハイ アイドル 20m 走行 (高速)	15.9~17.9 エンジンハイ アイドル 20m 走行 (高速)	15.9~17.9 エンジンハイ アイドル 20m 走行 (高速)	15.9~17.9 エンジンハイ アイドル 20m 走行 (高速)	15.9~17.9 エンジンハイ アイドル 20m 走行 (高速)
10~15 クローラ継目の Ωマークがフ レーム下部中央 位置 (図 No. 5)	10~15 クローラ継目の Ωマークがフ レーム下部中央 位置 (図 No. 5)	10~15 クローラ継目の Ωマークがフ レーム下部中央 位置 (図 No. 5)	10~15 クローラ継目の Ωマークがフ レーム下部中央 位置 (図 No. 5)	10~15 クローラ継目の Ωマークがフ レーム下部中央 位置 (図 No. 5)	10~15 クローラ継目の Ωマークがフ レーム下部中央 位置 (図 No. 5)	10~15 クローラ継目の Ωマークがフ レーム下部中央 位置 (図 No. 5)	10~15 クローラ継目の Ωマークがフ レーム下部中央 位置 (図 No. 5)
25~35 フレーム下部 (図 No. 5)	25~35 フレーム下部 (図 No. 5)	25~35 フレーム下部 (図 No. 5)	25~35 フレーム下部 (図 No. 5)	25~35 フレーム下部 (図 No. 5)	25~35 フレーム下部 (図 No. 5)	25~35 フレーム下部 (図 No. 5)	25~35 フレーム下部 (図 No. 5)
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	75~95	75~95	162±15	162±15	162±15	162±15

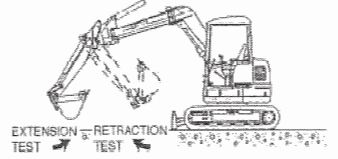
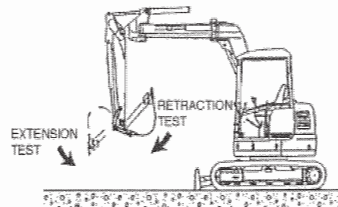
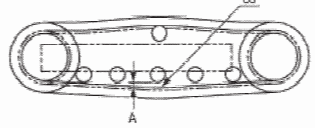
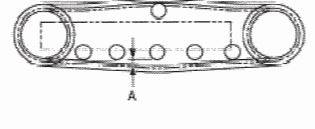
キャタピラー

適用範囲	モデル名		305CCR	303.5DCR	304CCR	305DCR	305.5DCR	
	適用号機		GYZ00001~	SEG00001~	STB00001~	WCJ00001~	YHS00001~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
作業装置	作業機 自然降下	バケット先端位置 (測定時間)	mm	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ
		(作動油温度) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	(°C)	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ
	シリンダ 自然伸縮	ブームシリンダ	mm	2.5	2	2	2	2
		アームシリンダ	mm	6.0	5	10	5	5
		バケットシリンダ	mm	6.0	5	5	5	5
		ブレードシリンダ	mm	2.0	2	2	2	2
		(測定時間)	(分)	3	3	3	3	3
		(作動油温度)	(°C)	55±5	55±5	55±5	55±5	55±5
		作業装置姿勢 (図面番号表示)	kg	図NO.1 210	図NO.1 150	図NO.1 210	図NO.1 210	図NO.1 210
	作業機速度	ブーム伸び 縮め	秒	2.9±0.5	2.8±0.4	2.6±0.4	2.6±0.4	2.8±0.4
秒			2.6±0.5	3.1±0.4	2.7±0.4	2.7±0.4	2.5±0.4	
作業装置姿勢 (図面番号表示)		図NO.2	図NO.2	図NO.2	図NO.2	図NO.2	図NO.2	
		アームシリンダ伸び 縮め	秒	3.6±0.5	2.9±0.4	3.2±0.4	3.2±0.4	3.4±0.4
作業装置姿勢 (図面番号表示)		秒	2.9±0.5	2.4±0.4	2.6±0.4	2.6±0.4	2.9±0.4	
		作業装置姿勢 (図面番号表示)	図NO.3	図NO.3	図NO.3	図NO.3	図NO.3	
バケットシリンダ伸び 縮め		秒	3.1±0.5	2.6±0.4	3.1±0.4	3.1±0.4	2.6±0.4	
		秒	2.1±0.5	2.7±0.4	2.0±0.4	2.0±0.4	3.1±0.4	
作業装置姿勢 (図面番号表示)		(°C)	図NO.4	図NO.4	図NO.4	図NO.4	図NO.4	
		性能測定条件 (荷重・設定モード等)	°C	55±5	55±5	55±5	55±5	55±5
油圧装置	油圧回路図 設定圧力	kgf/cm ²	250+10 -0	250±10	257±8	257±8	257±8	
		MPa	24.5+1.0 -0 ハイイト [®]	24.5±1.0	25.2±0.8	25.2±0.8	25.2±0.8	
動力伝達装置	旋回ベアリング 取付けボルト の締付け	kgf・m	10.5±0.5	10.7±2.0	10.7±2.0	—	—	
		N・m	105±5	105±20	105±20	105±20	105±20	
		kgf・m	10.5±0.5	10.7±2.0	10.7±2.0	—	—	
	旋回減速機取 付けボルトの 締付け	kgf・m	24.5±4.1	24.5±4.1	24.5±4.1	—	—	
		N・m	240±40	240±40	240±40	240±40	240±40	
		kgf・m	24.5±4.1	24.5±4.1	24.5±4.1	—	—	
N・m	240±40	240±40	240±40	240±40	240±40			

303.5ECR	303.5ECR	304ECR	304ECR	305ECR	305ECR	305.5ECR	305.5ECR
SFH00001~	RSE00001~	SSC00001~	TSR00001~	WDL00001~	XSC00001~	YGB00001~	FSC00001~
検査基準値							
設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ
2	2	2	2	2	2	2	2
8	5	8	5	10	5	10	5
5	5	5	5	5	5	5	5
2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3
55±5	55±5	55±5	55±5	55±5	55±5	55±5	55±5
図NO.1 120	図NO.1 200	図NO.1 150	図NO.1 200	図NO.1 210	図NO.1 200	図NO.1 210	図NO.1 200
2.4~3.2 2.0~2.8	2.4~3.2 2.0~2.8	2.4~3.2 2.1~2.9	2.4~3.2 2.1~2.9	2.2~3.0 2.3~3.1	2.2~3.0 2.3~3.1	2.4~3.2 2.1~2.9	2.4~3.2 2.1~2.9
図NO.2	図NO.2	図NO.2	図NO.2	図NO.2	図NO.2	図NO.2	図NO.2
2.5~3.3 2.0~2.8	2.5~3.3 2.0~2.8	2.7~3.5 2.2~3.0	2.7~3.5 2.2~3.0	2.8~3.6 2.2~3.0	2.8~3.6 2.2~3.0	3.0~3.8 2.5~3.3	3.0~3.8 2.5~3.3
図NO.3	図NO.3	図NO.3	図NO.3	図NO.3	図NO.3	図NO.3	図NO.3
2.2~3.0 1.7~2.5	2.2~3.0 1.7~2.5	2.2~3.0 1.8~2.6	2.2~3.0 1.8~2.6	2.7~3.5 1.6~2.4	2.7~3.5 1.6~2.4	2.7~3.5 1.6~2.4	2.7~3.5 1.6~2.4
図NO.4	図NO.4	図NO.4	図NO.4	図NO.4	図NO.4	図NO.4	図NO.4
40~60	40~60	40~60	40~60	40~60	40~60	40~60	40~60
エンジンハイ アイドル・バ ケット空荷	エンジンハイ アイドル・バ ケット空荷	エンジンハイ アイドル・バ ケット空荷	エンジンハイ アイドル・バ ケット空荷	エンジンハイ アイドル・バ ケット空荷	エンジンハイ アイドル・バ ケット空荷	エンジンハイ アイドル・バ ケット空荷	エンジンハイ アイドル・バ ケット空荷
24500~ 26000	24500~ 26000	24500~ 26000	24500~ 26000	24500~ 26000	24500~ 26000	24500~ 26000	24500~ 26000
ハイイト [®]	ハイイト [®]	ハイイト [®]	ハイイト [®]	ハイイト [®]	ハイイト [®]	ハイイト [®]	ハイイト [®]
—	—	—	—	—	—	—	—
105±20	105±20	105±20	105±20	105±20	105±20	105±20	105±20
—	—	—	—	—	—	—	—
105±20	105±20	105±20	105±20	105±20	105±20	105±20	105±20
—	—	—	—	—	—	—	—
240±40	240±40	240±40	240±40	240±40	240±40	240±40	240±40
—	—	—	—	—	—	—	—
240±40	240±40	240±40	240±40	240±40	240±40	240±40	240±40

キャタピラー

304CCR~305CCR/303.5DCR~305.5DCR/303.5ECR~305.5ECR	図 NO
シリンダ自然伸縮(ブーム・アーム・バケット)	図 NO. 1
<ol style="list-style-type: none"> 1. エンジンを始動する。 2. 車両を平坦な場所に駐車させる。 3. 油温が 55±5℃になるまで温める。 4. バケットに荷積みする。 5. バケットシリンダを完全に伸ばす。バケットシリンダを一杯に伸びた状態から 10mm 収縮させる。 6. スティックシリンダを完全に収縮させた状態から 10mm 伸張させる。 7. ブームを上下させて、バケットからスティックピンまでをブームフットピンと同じ高さにする。 8. シリンダピンからシリンダピンまでの各シリンダの長さを測定する。 9. エンジンを停止させる。 10. 車両をこの位置で 3 分間放置する。シリンダピンからシリンダピンまでの各シリンダの長さのドリフトを測定する。 	 <p>BOOM, STICK AND BUCKET CYLINDERS TEST 3050011</p>
シリンダ自然伸縮(ブレードシリンダ)	図 NO. 1
<ol style="list-style-type: none"> 1. エンジンを始動する。 2. 車両を平坦な場所に駐車させる。 3. 油温が 55±5℃になるまで温める。 4. スティックが地面と垂直になるように、スティック位置を調整する。スティックを地面に下ろす。 5. ブレードシリンダを完全に収縮する。ブレードシリンダを完全に収縮した状態から 10mm 伸張させる。 6. シリンダピンからシリンダピンまでのブレードシリンダの長さを測定する。 7. エンジンを停止する。 8. 車両をこの位置で 3 分間放置する。シリンダピンからシリンダピンまでのブレードシリンダの長さのドリフトを測定する。 	 <p>BLADE CYLINDER TEST 3050012</p>
作業機速度(ブームシリンダ)	図 NO. 2
<ol style="list-style-type: none"> 1. バケットシリンダ伸びエンド、スティックシリンダ縮みエンドにして <p>伸び試験・・・バケット接地状態からブームシリンダエンド(クッション手前)までの作動時間を測定する。</p> <p>縮み試験・・・ブームシリンダ伸びエンドからバケット接地までの作動時間を測定する。</p>	 <p>RETRACTION TEST EXTENSION TEST BOOM CYLINDER TEST 3050013</p>

304CCR~305CCR/303.5DCR~305.5DCR/303.5ECR~305.5ECR	図 NO
作業機速度(アームシリンダ)	図 NO. 3
<ol style="list-style-type: none"> 1. ブームの上面を地面に平行に保つ。バケットシリンダ伸びエンドにして <p>伸び試験・・・スティックシリンダ縮みエンドから伸びエンド迄の作動時間を測定する。</p> <p>縮み試験・・・スティックシリンダ伸びエンドから縮みエンド迄の作動時間を測定する。</p>	 <p>EXTENSION TEST RETRACTION TEST STICK CYLINDER TEST 3050014</p>
作業機速度(バケットシリンダ)	図 NO. 4
<ol style="list-style-type: none"> 1. ブームの上面を地面に平行にし、スティックを垂直に立てる。 <p>伸び試験・・・バケットシリンダ縮みエンドから伸びエンド迄の作動時間を測定する。</p> <p>縮み試験・・・バケットシリンダ伸びエンドから縮みエンド迄の作動時間を測定する。</p>	 <p>EXTENSION TEST RETRACTION TEST BUCKET CYLINDER TEST 3050015</p>
履帯張り(ゴムローラ)	図 NO. 5
<ol style="list-style-type: none"> 1. ラバーベルト下面を地面から浮かしてください。 2. ラバーベルト内側の∞マークが下側位置になるように位置決めして下さい。 3. 中央部のトラックローラ下面と、ラバーベルト芯金上面とのクリアランス A を測定する。 	 <p>∞ A LB0794</p>
履帯張り(スチールシュー)	図 NO. 5
<ol style="list-style-type: none"> 1. スチールトラック下面を地面から浮かせて下さい。 2. スチールトラックを浮かせた状態で、中央部のトラックローラ下面とスチールトラックのクリアランス A を測定して下さい。尚、張り調整時はトラック周りに付着している土砂などを取り除いてから実施すること。 	 <p>A LB0785</p>

キャタピラー

クレーン時の旋回速度測定

適用範囲		モデル名		020SR	030SR	040SR	050SR	
		適用号機		K0600001～	K0700001～	K0800001～	K0900001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
動力伝達装置	クレーン時の旋回速度	2回転の所要時間	秒	14.8～22.6	15.2～22.6	15.2～22.6	14.0～20.7	
		(条件) エンジン回転数	rpm	1725～1875	1725～1875	1725～1875	1575～1725	
検査条件	検査条件							

適用範囲		モデル名		303.5ECR	304ECR	305ECR	305.5ECR	
		適用号機		RSE00001～	TSR00001～	XSC00001～	FSC00001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
動力伝達装置	クレーン時の旋回速度	3回転の所要時間 (1回転加速後に計測)	秒	25.7-36	25.7-36	25.7-36	25.7-36	
検査条件	クレーンモードに入った状態で、エンジン回転数が自動制御されるため、クレーンモードの状態にて計測を実施すること。							

適用範囲		モデル名		307D	308DCR	308DSR		
		適用号機		ECT00001～	HSA00001～	JPS00001～		
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
動力伝達装置	クレーン時の旋回速度	3回転の所要時間 (1回転加速後に計測)	秒	22.5～26.0	22.5～26.0	22.5～26.0		
検査条件	フロント姿勢をスティック垂直、バケットクローズで、ブームを上げた姿勢にする。 クレーンモードに入った状態での基準値となるため、クレーンモードの状態にて計測を実施すること。							

適用範囲		モデル名		311DRR	312D	313DCR	313DSR	314DCR
		適用号機		AKW00001～	FBJ00001～	LCE00001～	LBR00001～	MFK00001～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
動力伝達装置	クレーン時の旋回速度	3回転の所要時間 (1回転加速後に計測)	秒	45±3	45±3	32.7±3	32.7±3	32.7±3
検査条件	フロント姿勢をスティック垂直、バケットクローズで、ブームを上げた姿勢にする。 クレーンモードに入った状態での基準値となるため、クレーンモードの状態にて計測を実施すること。							

キャタピラー

適用範囲		モデル名		315DL	320D-2	320DL-2	320DRR-2	320DLRR-2
		適用号機		BYK00001~	BWZ00001~	DFB00001~	RBL00001~	SCW00001~
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
動力伝達装置	クレーン時の旋回速度	3回転の所要時間 (1回転加速後に計測)	秒	45±3	35.3±3	35.3±3	36±3	36±3
検査条件		フロント姿勢をスティック垂直、バケットクローズで、ブームを上げた姿勢にする。 クレーンモードに入った状態での基準値となるため、クレーンモードの状態にて計測を実施すること。						

適用範囲		モデル名		320DLN	321DCR	321DLCR	312E	314ECR
		適用号機		KAF00001~	JCX00001~	KBH00001~	GAC00001~	ECN00001~
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
動力伝達装置	クレーン時の旋回速度	3回転の所要時間 (1回転加速後に計測)	秒	45±3	45±3	45±3	35.3±3	35.3±3
検査条件		フロント姿勢をスティック垂直、バケットクローズで、ブームを上げた姿勢にする。 クレーンモードに入った状態での基準値となるため、クレーンモードの状態にて計測を実施すること。						

適用範囲		モデル名		314ESR	314ELCR	316EL	320E	320EL
		適用号機		ECN00001~	YCW00001~	WZY00001~	SXE00001~	LAK00001~
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
動力伝達装置	クレーン時の旋回速度	3回転の所要時間 (1回転加速後に計測)	秒	35.3±3	35.3±3	35.3±3	35.3±3	35.3±3
検査条件		フロント姿勢をスティック垂直、バケットクローズで、ブームを上げた姿勢にする。 クレーンモードに入った状態での基準値となるため、クレーンモードの状態にて計測を実施すること。						

適用範囲		モデル名		320ERR	320ELRR			
		適用号機		LHN00001~	MEW00001~			
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
動力伝達装置	クレーン時の旋回速度	3回転の所要時間 (1回転加速後に計測)	秒	35.3±3	35.3±3			
検査条件		フロント姿勢をスティック垂直、バケットクローズで、ブームを上げた姿勢にする。 クレーンモードに入った状態での基準値となるため、クレーンモードの状態にて計測を実施すること。						